

岩手ホスピスの会通信



岩手ホスピスの会（代表：川守田裕司 事務局長：吉島美樹子）

会 員 数／250名（2021.6.13 現在）

編 集 発 行／「岩手ホスピスの会」事務局 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町 13-31 川守田方

TEL：090-2604-7918 FAX：019-653-6447

郵便振替口座／02250-1-60580 E-mail／hospice@eins.rnac.ne.jp

Homepage（岩手ホスピスの会通信） <http://hospice.sakura.ne.jp/>

No. **67**
2021年7月

2020 年度総会開催



2020 年度総会（2月13日、盛岡市総合福祉センター）

岩手ホスピスの会 2020 年度総会は、2021 年 2 月 13 日（土）盛岡市総合福祉センターで開催され、事業報告、会計報告、会計監査報告がありました。

★新年度の活動基本方針として、

1. がん患者さんとそのご家族を様々な角度からサポートする。
 - タオル帽子活動やがん情報の発信、患者さんを支援する栄養講座やホスピスセミナー等の開催、がん相談窓口の充実
2. 全国関連団体への積極的活動協力を行い、相互の情報交換を深め、岩手と日本のがん医療・緩和ケアの推進をはかる。
 - がん患者団体支援機構、がん患者と家族・支援者の会等への協力
3. 設置された岩手県内各ホスピスの見守りとボランティア協力
4. 東日本大震災により被災した岩手県沿岸部への支援。

★岩手ホスピスの会通信年 2 回発行、ホームページ運営、定例役員会は毎月 1 回の予定で行う。一等が提案・承認され、新年度役員が以下の通り選出されました。

《新年度役員》

代表：川守田裕司 副代表：伊藤ヨシ子 事務局長：吉島美樹子
 幹事：佐々木順子、浅田京子、藤原弥生、蛇口真理子、高橋敏明、原理子
 会計：池乗育代、細川恵美子 監査：菊地克昌、佐々木美穂子

がん患者さんの心と体の痛みやつらさを和らげ生活やその人らしさを大切にする「緩和ケア」が知られるようになりました。緩和ケアは、緩和ケア外来や緩和ケア病棟（ホスピス）、一般病院や在宅（訪問診療や訪問看護）で受けられ、私達の身近にあることを多くの方に知っていただきたいと思います。

また、終末期において延命治療をどうするか本人の意思確認や判断が難しく、本人やご家族にとっても深刻な問題となっています。一人暮らし世帯の増加や在宅医療・介護の連携により自分の家で人生の最期を迎えたい人も増えています。

少子化と超高齢社会の中で、どうしたら少しでも自分らしく生きることができているのか、新年度も患者さんにご家族の立場に立ちこれらの問題に取り組み、皆様の願いが少しでも社会に届くことを目指し活動していきたいと思っています。

盛岡市医師会へ一部がん検診の実施を要望

岩手ホスピスの会は、盛岡市での一部がん検診の実施を要望する文書を、2020年12月9日に盛岡市医師会に提出しました。

全国の自治体が健康増進法に基づき実施しているがん検診について、盛岡市と秋田市のみが新型コロナウイルスの影響で一部検査（盛岡市は大腸検査と胃の内視鏡検査）を実施できないまま、2020年度の実施を断念しました。

なぜ全国74市区の中で盛岡市と秋田市のみ実施できないのか、コロナ禍で医療現場も行政サービスも疲弊していることはもちろん分かりますが、一人でも多くの市民が昨年度と同様のがん検診を受けられるよう、盛岡市保健所に要望書を提出しました。同所は「この件について盛岡市医師会から、一部検診を控えるべきという提言書を受取っている。」との回答でした。

そこで私たちは2021年2月8日に盛岡市医師会に同様の要望書を提出し、対応していただいた及川敬一郎事務局長は「21年度の検診をどうするか検討する盛岡市医師会の委員会が3月に開催されるので、その際に要望があったことを伝える。」と答えました。

県のがん検診に関するホームページによると、2017年度の盛岡市のがん検診実施結果で大腸がんであった者45名、胃がんであった者43名となっており、これらに近い数のがん患者さんが2020年度は検診で見つからず埋もれていることとなります。

一日も早い盛岡市における従来通りのがん検診実施を願っています。

(2021.3.1)

(12ページ毎日新聞記事参照)



盛岡市医師会へ要望書を提出

お知らせ 2021年度盛岡市がん検診について

盛岡市は、昨年度新型コロナウイルスの影響で見合わせたがん検診の大腸検査と胃の内視鏡検査を今年度は再開することになりました。盛岡市医師会と盛岡市の関係者の皆様に感謝するとともに、この件に関して声を上げていただいた報道関係者やがん患者会「盛岡かたくりの会」乳がん患者の会「アイリスの会」の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

(2021.6.7)

(下記の毎日新聞記事参照)

盛岡市がん検診今年度は実施へ
患者団体要望受け
盛岡市は今年度のがん検診を実施することを決め広報誌を通じて市民に周知した。2020年度は新型コロナウイルスの影響から大腸がんなど一部の検診を断念し、患者団体が今年度実施を求める要望書を市保健所と市医師会に提出していた。自治体の実施するがん検診を巡っては、毎日新聞が20年秋に全国計74市区にアンケート調査し、盛岡、秋田両市が20年度の検査を一部断念したことが判明した。市によると、3月に市医師会の委員会で今年度の検診の実施を決め、準備を進めてきた。受診券は21日ごろに各家庭に郵送される予定。

要望書を提出した岩手ホスピスの会の川守田祐司代表(64)は「従来通り実施してもらえないことに感謝したい。コロナで大変なのは承知しているが、がんは早期発見・早期治療が大事なので、来年度以降も継続して検診を実施してほしい」と話した。【山田豊】

毎日新聞記事 2021.6.15 掲載

岩手県立釜石病院に医師確保を求める署名に協力しました。

県立釜石病院では2020年10月から循環器医師の減少とベッド稼働率の低下に伴う措置として従来の循環器科、泌尿器科5病棟に入院していた患者さんを他病棟に集約し、5病棟は休止しています。更に今年から産科医、小児科医の確保ができず分娩を取りやめることになりました。当会では、釜石老人クラブ連合会等5団体が呼びかけ人になった「釜石医療圏での医師確保と病院の機能維持を求める署名」に協力しました。署名は6月16日に県と医療局へ提出され、県は「医師確保に向け取り組みをすすめたい」と回答しました。震災後もこの地域で生きる皆さんの強い願いがかなえられることを切に願っています。



(2021.6.13)

「いのちの山河」上映会盛況

2021年2月27日(土)に盛岡劇場で開催した「いのちの山河」上映会にはコロナ禍にもかかわらず定員255名のところ300名を超える来場者があり、県民の皆さんの関心の高さや熱い心に驚きました。野原勝県保健福祉部長から激励の祝辞をいただきました。また、上映後は西和賀町立西和賀さわうち病院の高橋光世理事長とNPO法人深澤晟雄の会の加藤和夫理事長によるミニトークがあり、一層理解を深めることができました。今年度再度上映会を開催し、入場できなかった方々に観ていただこうと準備しております。当日会場で行ったアンケートから以下にご紹介します。



上映会参加者アンケートより

●深澤村長の功績である、乳幼児の死亡ゼロ、65歳以上の高齢者医療費無料化、雪道の開通などどれも素晴らしいと思いました。●ひとり一人の力が大事であると再認識。生命尊重が一番。今の時代に大切だと思う。そういう行動がしたい。●私自身には何ができるのか考え活動しています。命を無駄にすることがないようにこの映画をもっと多くの方に観ていただきたいと思いました。●今の政治家に観ていただきたいです。●コロナの最中にいのちの大切さを感じることができた。女子高生6名の合唱も素晴らしい。●政治家の皆様全員にこの映画を観てもらいたいと切に思いました。●コロナ対策をしっかりして安心して観ることができました。●コロナ禍の中で「命あってのものだね」の重みを改めて考えた。●今の政治家は深澤村長のようにいのちの原点に立って政治をやっていただきたいと思った。●生きにくい世の中だけど希望を持つことが大切だ！フードバンクで子供さんを救いたい。●故・深澤晟雄さんは小さな村の村長さんだが世界一の村長さんでした。今の政治家に一人もいないのが残念。●映画上映だけでなくミニトークもあり企画が大変良かった。●岩手の誇り、命の大切さを永遠に伝えましょう！

(12ページ盛岡タイムス記事参照)



コロナ禍での緩和ケア病棟面会制限状況

現在、多くの病院でコロナ禍における面会制限が行われております。「緩和ケア病棟における面会制限はどのようになっているのか？」と、患者さんのご家族から問い合わせがあり、岩手県内緩和ケア病棟の現状をまとめました。詳細については直接お問い合わせください。

岩手医科大学附属病院：一般病棟に準ずる(原則面会禁止)。ただし、状況により要相談

盛岡赤十字病院：二親等以内で5名まで、1度に1~2人まで面会可能。1回15分。時間は午後1時~7時まで。また、県外から来られるご家族の場合はガラス越しの面会となります。

盛岡友愛病院：キーパーソンを含めた県内在住の方3名まで。その3名については、生活状況などを確認の上、必要であれば医師の問診も行ってから面会を許可する。県内でのコロナの発生の状況により随時変更あり。

盛岡孝仁病院：状態により医師の許可がある場合のみ。面会頻度と時間の制限あり。

岩手県立中部病院：日々状況に変化があり一定していない。要問合せ。

美山病院：基本はリモート面会のみ。その他状況に応じて担当医が判断します。

岩手県立磐井病院：事前に患者さんが会いたい方を4名登録していただきます。

(2021.5~6月の状況です。)



盛岡友愛病院緩和ケア病棟

がん患者医療用補正具購入費助成事業調べ

がん患者の方の治療と就労、社会参加等の両立を支援し、療養生活の質の向上を図るため医療用補正具等の購入の費用を一部助成する自治体が全国的に増えてきています。東北六県の状況を調べました。秋田県、宮城県、山形県は、県レベルの取り組みで、窓口は市町村ですが紙面の都合で一部の市町村のみ掲載しています。福島県も県レベルの取り組みで地域医療課が窓口です。詳しくはホームページで検索やお住まいの市町村窓口へお問合せください。

この調査で、未実施やウイッグのみ対象の自治体も多く、また上限額も格差があります。購入経費の助成割合や上限額を上げ、何より実施に向けて早期に取り組んでいただきたいと思います。

《2021年6月1日現在》

(単位：円)

都道府県	市町村	購入経費の助成割合	ウイッグ上限額	乳房補正具上限額		担当課	電話	備考
				右側	左側			
青森県	0 / 40							40 (10市22町8村)
※県レベルのサポートはなし。市町村独自で行っている自治体があるかもしれないが把握できず。								
秋田県	25 / 25	※県レベルでサポート (2020.4.1 から市町村が窓口)						25 (13市9町3村)
	秋田市		25,000	20,000	20,000	保健予防課	018-883-1176	
	能代市		45,000	30,000	30,000	健康づくり課	0185-58-2838	
	男鹿市		30,000	20,000	20,000	健康子育て課	0185-24-3400	
	美郷町		35,000	20,000	20,000	福祉保健課	0187-84-4900	
岩手県	16 / 33							33 (14市15町4村)
	北上市	10分の9	30,000	20,000	20,000	健康づくり課	0197-72-8296	※岩手県では、医療用ウイッグの購入費助成を行っている市町村に対して、予算の範囲内で事業費の補助を行っています。 詳しくは、お住まい(住所地)の市町村担当課までお問い合わせください。
	花巻市	2分の1	20,000			健康づくり課	0198-41-3614	
	一関市		30,000	20,000	20,000	健康づくり課	0191-21-2160	
	盛岡市	2分の1	20,000			健康増進課	019-603-8306	
	宮古市	2分の1	30,000	20,000	20,000	健康課	0193-64-0111	
	遠野市		20,000			健康長寿課	0198-68-3185	
	陸前高田市	2分の1	20,000			保健課	0192-54-2111	
	二戸市	2分の1	30,000	20,000	20,000	健康福祉企画課	0195-23-1314	
	奥州市		20,000	10,000	10,000	健康増進課	0197-34-2903	
	滝沢市	2分の1	20,000			健康推進課	019-656-6527	
	雫石町	2分の1	20,000			健康子育て課	019-692-2227	
	金ヶ崎町		20,000	10,000	10,000	保健福祉センター	0197-44-4560	
	平泉町		30,000	20,000	20,000	保健センター	0191-46-5571	
	住田町	2分の1	20,000	20,000	20,000	保健福祉課	0192-46-3862	
	普代村	2分の1	20,000			保健センター	0194-35-2211	
	野田村	2分の1	20,000			保健福祉課	0194-75-4321	
宮城県	31 / 35	※県レベルでサポート (市町村が窓口)						35 (14市20町1村)
	仙台市	2分の1	20,000			健康政策課	022-214-8198	
	栗原市		30,000	20,000	20,000	健康推進課	0228-22-0370	
	石巻市		20,000	20,000	20,000	健康推進課	0225-95-1111	
山形県	35 / 35	※県レベルでサポート (市町村が窓口)						35 (13市19町3村)
	山形市	2分の1	20,000	10,000	10,000	健康増進課	023-616-7272	
福島県	59 / 59	※県レベルでサポート (県が窓口)				福島県保健福祉部		59 (13市31町15村)
			20,000	10,000	10,000	地域医療課	024-521-7221	

タオル帽子プレゼント



今年も全国 10 カ所のがん診療連携拠点病院にタオル帽子総数 850 個を発送しました。お送りしたタオル帽子で患者さんが少しでも笑顔になっていただけることを、ボランティア一同願っております。

送付先病院一覧

2021年6月(1件50個程度) 病院 10件 総数 850個

岩手県 岩手医科大学附属病院、岩手県立二戸病院、岩手県立胆沢病院 **秋田県** 秋田赤十字病院 **京都府** 京都大学医学部付属病院 **山口県** 山口県立総合医療センター、徳山中央病院

愛媛県 愛媛県立中央病院 **大分県** 大分大学医学部附属病院 **宮崎県** 都城医療センター

JA 女性部よりタオルをいただきました。

6月3日、JA 女性部によるタオル贈呈式があり、当会役員とタオル帽子ボランティアが同部部長・戸塚幸子様よりタオル 600 枚を受け取りました。がん患者さんのサポートのため大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



第一生命盛岡支社よりタオルをいただきました。

6月12日、第一生命盛岡支社よりタオルのご寄付があり、同社中央通営業オフィス長小原雄介様の呼びかけに応じて県内 14 の拠点から集まったタオル 231 枚を受け取りました。今後も定期的に各拠点に声をかけ継続したいとのことです。温かい取り組みに感謝申し上げます。



「つむぐ」イルミネーション

東日本大震災被災地支援活動として、岩手県自治体現業組合と合同で被災地仮設住宅周辺の草刈りボランティアに 5 年間取り組んできましたが、今年から現業組合の取り組みはなくなりました。

岩手県内及び他県からやって来た多くの被災地支援団体が、震災から 10 年の節目で活動から撤退している中、私たちが震災の年からお伺いしている陸前高田のイベント「高田に輝(ひかり)の花を咲かせよう」を主催する地元メンバーの方々は、イベントの名称を「つむぐ」と変え、今年も変わらず光のセレモニーを開催し、家族や友人たちを忍んでいました。



「つむぐ」を主催する地元メンバーの方々



広大な面積を誇る「高田松原津波復興祈念公園」

ご自身も震災で友人を亡くした同実行委員会委員長の松村幸祈さんは、「たくさんの方々がちょっとでも高田のことを気にかけてくれたら嬉しい。このイベントはこれからもずっと続けていきたい」と話していました。

10 年の節目で陸前高田の街はかさ上げも終わり新しい建物もたくさん建って大きく変わりましたが、「大切な人を失った被災地の方々の悲しみは何一つ変わってはいない」ということに改めて気付かされ、帰途の車の中で涙が出て止まりませんでした。(2021年3月6日 川守田)

岩手ホスピスの会とタオル帽子ボランティアへの メッセージ (2021年1月～6月)



当会のタオル帽子を受け取った全国の皆さんから寄せられたメッセージの一部をご紹介します。2008年6月からスタートしたタオル帽子発送はこれまで102,900個に上っています。今日もどこかでタオル帽子の活動に思いを寄せている方がいます。帽子を作るボランティアの皆さんに深くお礼申し上げます。

*はじめまして。私は今この帽子を作った見知らぬ方にお便りしています。帽子本当にありがとうございました。覚悟は決めていたもののお風呂に入るとめどなく抜ける髪にやっぱり涙が出ました。自分は耐えてどこまで生きられるのかなどと思いが頭をよぎることがありました。でも今は大丈夫。主治医の先生やスタッフの皆さんが一生懸命診て下さいます。そして岩手からも人の優しさを届けて下さってとても嬉しくて、日本の絆っていいな～と(^^)。今とてもがん患者さんが増えているのですね。私にも何かつなげて喜んで欲しい思いで一杯です。一人の力では大したことはできないけれど、この私の治療を終えるまでにコツコツ作れば……数にもなると信じて、今度は私から帽子でお礼兼ねてつながっていきますように～。



(岐阜県)



フェイスタオルご寄付のお願い

皆様にお願ひがあります。ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルがとても不足しております。どのようなものでも構いません。ご家庭で眠っているタオルがありましたらぜひご協力をお願いいたします。

〈送付先〉 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 岩手ホスピスの会宛

タオル帽子を作りたい方へ

※タオル帽子を作りたい方へ型紙をお譲りしています。申し込み方法：はがきかメールで。

※メールアドレス：hospice@eins.rnac.ne.jp

はがき：〒031-0823 青森県八戸市湊高台6-4-22 吉島方「岩手ホスピスの会」

これからのタオル帽子講習会・サロン日程

7月10日：タオル帽子講習会・サロン

8月7日：タオル帽子講習会・サロン

9月4日：タオル帽子講習会・サロン

●場所：盛岡市総合福祉センター

●開催時間：午後1時30分から

●問い合わせ先：080-1658-1762

※型紙のコピーはご遠慮願ひます。型紙の必要な方は当会へお問い合わせください。

ショート
②

岩手のがん相談支援センター 岩手医科大学附属病院



患者サポートセンター入口

当院は、岩手県のがん診療を牽引する都道府県がん診療連携拠点病院の中核を担う医療機関であり、県内各地から多くの患者様が来院されております。

がん相談支援センターは、1階患者サポートセンター内に設置されております。

寄せられるご相談は、「がんと診断された、どのような治療があるのか知りたい」「医師から説明をされたが、よくわからなかったので教えて欲しい」などの治療に関する相談、「セカンドオピニオンを受けたいが、どうしたらよいか」「岩手医大の治療実績を知りたい」などの治療の選択に関する相談、「治療により後遺症が残ると説明を受けた。皆さんどう対処しているのか知りたい」などの副作用や後遺症に関する相談、「がんと診断された、職場になんと伝えたらよいか」「がんと伝えたら辞めさせられるのではないかと心配」など治療と仕事の両立に関する相談

、「医療費がどのくらいかかるか知りたい」「ケア用品の購入費用の助成について教えて欲しい」など社会保障制度などに関する相談、そのほかにも療養先に関するご相談、「重粒子線治療について知りたい」「ゲノム医療について知りたい」「治験・臨床試験について知りたい」「オンラインセカンドオピニオンを実施している医療機関を知りたい」「希少がんと言われたが、どうしたらよいか」など多岐に渡っております。

ご相談は、面談とお電話でお受けしております。

当院に通院していない方からのご相談もお受けしております。

がん相談の専門的な研修を受けた相談員が対応しますが、相談内容によっては、より正しい情報提供、相談支援ができるよう院内の多職種と連携し対応させていただいております。

また看護師と社会福祉士の複数職種での面談を積極的に行っており、それぞれの専門を活かして相談支援にあたっております。

患者さんからは、病気や治療のことと生活のことを合わせて相談することができてよかった等の感謝の言葉をいただいております。

心配なことがございましたら、一人で悩まず、ご相談ください。

岩手医科大学附属病院

医療福祉相談室 室長 (MSW) 近藤 昭恵



面談の様子

お問い合わせ先

岩手医科大学附属病院 がん相談支援センター (1階 患者サポートセンター内)

住所：紫波郡矢巾町医大通2丁目1番1号

直通電話番号：019-611-8073

利用時間：平日9:00～16:00 第1第4土曜日9:00～12:00

岩手県内各ホスピス現況

(岩手ホスピスの会調べ 詳細は

	孝仁病院 緩和ケア病棟	盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟	盛岡友愛病院 緩和ケア病棟
住 所	盛岡市中太田泉田 28	盛岡市三本柳 6 地割 1 番地 1	盛岡市永井 12-10
電 話	019-656-2888 医療福祉相談室	019-637-3111 (代表) 緩和ケア相談室 内線 338	019-638-2222 (代表) 医療相談室 緩和ケア担当 内線 185
病 床 数	10 床	22 床 (全室個室)	18 床
ベ ッ ド	無料個室 8 床 有料個室 2 床	無料 12 室 有料 10 室	個室 10 床のうち 9 床が有料 4 床室無料
ベ ッ ド 料	1 日 3,300 円	1 日 5,500 円・11,000 円	1 日 5,500 円
看 護 師 数	16 名 + 看護補助者 1 名	21 名 + 看護補助者 2 名	17 名 + 看護補助者 5 名
ホスピス医	米山幸宏	畠山元、旭博史	藤井祐次
看 護 師 長	栗木真由美	木下香代子	上山志鈴江
入 院 審 査 を 受 け る に は	医療福祉相談室にご相談ください。 月～水・金・土曜 9:00～17:00 木曜 9:00～12:30	緩和ケア相談室へお問い合わせ ください。 月～金曜 9:00～16:00	医療相談室まで。 019-638-2222 (代表) 月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:30 (第 2・4 土曜は不可)
審 査 日	随時	随時	随時
ホスピス入院 平均待機者数	0～3 名	0	0～2 名
ホスピス入院 平均待機期間	状況により数日～2 週間 重症者優先	外来受診後、平均 5 日	個室は 2 週間程度 大部屋希望の 場合は 1 週間程度 (大部屋は希望 が多いため、患者さんの意向を確認 後、一般病棟で待機する場合があります)
利 用 者 内 訳	盛岡市周辺がほとんど (8 割以上)	盛岡市周辺の方がほとんど	盛岡市周辺の方がほとんど
緩和ケア外来	診察日：月～水・金 8:30～16:30 木・土 8:30～11:30 担当医：米山幸宏	診察日：火・水・木 14:30～16:00 要予約 担当医：畠山元、旭博史	診察日：水・木・金 (AM・PM) 要予約 担当医：藤井裕次
ホスピスボ ランティアの 人 数 と 活 動	登録者 6 名 ホスピスボランティア募集中 019-656-2888	病院ボランティア登録者 25 名。 うち 23 名がホスピスで活動。 ※現在、コロナの影響で休止中	年 1 回程度イベント時活動
遺 族 会 の 名 称 と 連 絡 先	名称：ひだまりの会 年 2 回開催 連絡先：緩和ケア病棟 栗木	ハナミズキの会 緩和ケア病棟 年 1 回開催 ※現在、コロナの影響で休止中	設置未定
入 院 料	定額制 (3 段階…診療報酬上の緩和ケア病 棟入院料に準じます) 保険適用	定額制です。 入院日数によって 3 段階での算定 です。	定額制。入院期間により 3 段階。 患者さんの自己負担額は加入してい る保険等により異なる。 各種医療保険適用、医療費の他に 食事代別途徴収。
ペットの同伴	面会可能。宿泊不可。要相談。	面会は可能。宿泊や飼育は不可	面会のみ可能。条件あり。 要申請。
麻 酔 医 と の 連 携	必要時可能	硬膜外ブロックなどを行う場合など に連携あり。	なし

(2021年6月現在)

各病院に直接お問合せ下さい)

岩手医科大学附属病院 緩和ケア病棟	岩手県立磐井病院 緩和ケア病棟	岩手県立中部病院 緩和ケア病棟	美山病院 緩和ケア病棟
紫波郡矢巾町医大通2丁目1番1号	一関市狐禅寺字大平17番地	北上市村崎野17地割10番地	奥州市水沢羽田町字水無沢495-2
019-613-7111 (代表) 緩和ケアセンター 内線 3223	0191-23-3452	0197-71-1511	0197-24-2141
25床	24床 (個室20、2床室2)	24床 (個室18、2床室3)	20床 (全室個室)
無料個室17床 有料個室8床	無料17床 有料7床	有料個室10床、無料室14床	無料20室
1日18,700～25,300円	1日3,190～6,490円	1日3,300～13,420円	無料
25名+看護補助者1名	18名+看護補助者1名	17名+補助3名	17名+ケースワーカー1名+看護補助者5名
木村祐輔、鴻巣正史、中村清華	平野拓司	星野彰、綿引奈苗	及川司
竹内可愛	田頭浩子	菊池恵美子	小林洋子
緩和ケアセンターに 相談ください。 019-613-7111 内線 3223 月～金曜 8:30～17:00	0191-23-3452 (入院相談等) がん相談支援センター 相談時間:平日8:30～17:15	0197-71-1511 (入院相談他) がん相談支援室 相談時間:平日9:00～16:00	入院相談 (担当:ケースワーカー) 後面談 入退院検討会 (医師、薬剤師、 栄養士、看護師、理学療法士 で構成)
随時	随時	随時	随時 (その後ベッドが空くまで待機)
0～3名	0	3～4名	0
状況により数日～1週間程度	数日 (緊急対応可)	待機期間は同院一般病棟や 近隣の病院、連携のとれている 訪問診療で対応	0
盛岡市周辺の方が多い	一関市周辺や宮城県北の方が ほとんど	花巻北上周辺の方が8割以上 その他は奥州、盛岡等	奥州市周辺の方がほとんど
診察日:月～金、要予約 担当医: 木村祐輔、鴻巣正史	診察日:月～金、要予約 担当医:平野拓司	診察日:月～金の午前、 要予約 担当医:星野彰	診察日:水、要予約 担当医:及川司
実績無し 活動検討中	ボランティアコーディネーター 1名、ボランティア12名 活動:ティータイム、季節の行事、 がん患者サロン (こころば)	登録者39名。 活動内容:お茶会・歌っこの会・ アロマ・生け花・季節のイベン ト企画	現在登録者5名で活動中。 ホスピスボランティアを 随時募集中
設置未定	偲ぶ会 (連絡先:緩和ケア病棟) 当院緩和ケア病棟でお亡くなり になった方のご遺族の方のみ 年1回開催	偲ぶ会 緩和ケア病棟 (0197-71-1511) 当院緩和ケア病棟でお亡くなり になった方のご遺族の方のみ 年1回開催	<small>しちせき</small> 七夕の会 緩和ケア病棟 (0197-24-2141) 当院緩和ケア病棟でお亡くなり になった方のご遺族の方のみ これまでに4回開催
定額制 (診療報酬上の緩和ケア病棟 入院料に準じ入院期間により 3段階) 保険適応	定額制 (入院期間により3段階) ただし、定額に含まれない加算 や有料個室の料金等は別途追 加になります。	定額制 (入院期間により3段階) ただし、定額に含まれない加算 や有料個室の料金等は別途追 加になります。	定額制 3段階になります。
面会のみ可能。宿泊不可。 条件有。要申請	要申請。ケージに入る小型犬 が望ましい。大型犬は要相談。	面会可能。宿泊不可	面会可能。宿泊不可
必要時可能	なし	院内ペインクリニックと連携	麻酔医が非常勤なので頻度は 少ない。

***** 岩手ホスピスの会活動日誌 *****

2021年1月～6月

1月9日	第1回役員会、タオル帽子サロン・講習会、通信発送作業（盛岡市総合福祉センター、25名）
1月17日	総会準備作業（盛岡市タオル帽子倉庫、3名）
2月8日	盛岡市医師会へ一部がん検診の実施を要望（同医師会、3名）
2月13日	岩手ホスピスの会年度総会、第2回役員会（盛岡市総合福祉センター、35名）
2月14日	「第3次岩手県がん対策推進計画」の中間見直しに係るパブリックコメントを岩手県保健福祉部医療政策室に提出（盛岡市、1名）
2月27日	総会記念映画上映会「いのちの山河」開催（盛岡劇場メインホール、281名）
3月6日	「つむぐ」震災の犠牲者追悼イルミネーション参加（陸前高田まちなか広場、1名）
3月13日	第3回役員会、タオル帽子サロン・講習会（盛岡市総合福祉センター、27名）
4月10日	第4回役員会、タオル帽子サロン・講習会（盛岡市総合福祉センター、27名）
4月25日	緩和ケア医師研修会リモート対応打合せ（盛岡市タオル帽子倉庫、3名）
5月8日	第5回役員会、タオル帽子サロン・講習会（盛岡市総合福祉センター、27名）
5月21日	キリン福祉財団助成金贈呈式リモート参加（盛岡市内、1名）
5月31日	全国のがん診療連携拠点病院へタオル帽子発送作業（盛岡市タオル帽子倉庫、4名）
6月3日	JA 岩手中央・女性部より当会へのタオル帽子作成用タオル寄贈式（矢巾町営農センター、4名）
6月12日	第6回役員会、タオル帽子サロン・講習会（盛岡市総合福祉センター、28名） 第一生命盛岡支社より当会へのタオル帽子作成用タオル寄贈式（同上、4名）

「岩手ホスピスの会」がん相談窓口



開設日	毎月第2土曜日 午後1時30分～4時（月により変更あり） 相談無料
場所	盛岡市若園町総合福祉センター内 タオル帽子サロン会場（月により変更あり）
内容	電話相談：がん全般についての相談に対応致します。 直接面談：上記会場に来院して頂き対応 ※事前にお電話いただければ、相談内容に合ったスタッフが対応致します。
問合せ	岩手ホスピスの会 090-2604-7918

新年度継続とご支援のお願い

（年会費が一口2,000円になりました）

皆様からのあたたかなご寄付、ご支援をいつも本当にありがとうございます。

岩手ホスピスの会が、がん患者さんやご家族に寄り添い活動できる支えは、皆様のご支援によるものです。今後も安定した活動を継続するため、ご理解とご支援をお願いいたします。

2021年度会費（2021年1月～2021年12月分）を郵便局にて、振込用紙に住所、氏名を明記の上お振込みをお願いいたします。

ご住所の変更があった方はご連絡をお願いします。

年会費：2,000円（複数口可） 郵便振替：02250-1-60580 岩手ホスピスの会

がん患者さんのための栄養講座 パート 26

岩手県立胆沢病院 がん病態栄養専門管理栄養士 蛇口 真理子



梅雨に入り、むしむしした季節になってきましたね。治療の影響で食欲がないことに加え、湿度や気温が高くなることでも体調が優れずさらに食欲がなくなる…という方もいらっしゃると思います。今回は、【食事量を増やさずエネルギーアップできる：MCT入お粥】と【食欲不振に不足しやすいタンパク質と野菜と一緒に摂れる：塩鮭のマリネ】を紹介します。

★ MCT 入りエネルギーアップ粥★

MCT (中鎖脂肪酸) は最近ではドラッグストア等で購入できるようになったのでご存じの方も多いためです。MCT はココナッツや母乳に含まれる油脂ですが一般的な植物油に比べ、速やかに消化・吸収されエネルギーになりやすい性質があることや味や匂いが無く食材の味を変えないので使用しやすいことも特徴です。医療の現場では、低栄養の患者さんのエネルギー補給の目的で使用されることも多くなっており、当院でも食事量が少ないまたは低栄養の患者さんに MCT 入お粥を提供しています。作り方は、普段、召し上がっているお粥に小さじ 1 (4.6g) 程度を目安に混ぜるだけです。毎食 MCT 小さじ 1 を摂取すると 126kcal のアップとなり、食パン 8 枚切 1 枚程度のカロリーが摂取できます。主食がご飯という方は、MCT をお浸しや汁物に混ぜてもよいです。

塩鮭のさっぱりマリネ

塩鮭の簡単マリネ 1 人前 235 kcal

材料 (1 人前)	分量	
塩鮭	1 切 (60g)	
こしょう	少々	
小麦粉	3g	
サラダ油	小さじ 1/2	
A	玉ねぎ (スライス)	1/4 個
	きゅうり (千切り)	1/8 本
	人参 (千切り)	1/8 本
B	酢	大さじ 2/3
	砂糖	0.5g
	オリーブ油	大さじ 2/3
	こしょう	少々

作り方

- ① 鮭は食べやすい大きさに切り、骨を除いておく。
- ② ①にこしょうを振り、下味をつける。
- ③ Aの野菜を切る。玉ねぎは水にさらし水気を切っておく。
- ④ Bの材料を混ぜ合わせマリネ液をつくる。
- ⑤ バットに③の野菜を半分敷いておく。
- ⑥ ②に小麦粉をまぶし、熱したフライパンにサラダ油を入れ、鮭を両面ひっくり返しながらかく。
- ⑦ ⑥に焼き上がった塩鮭を並べ、マリネ液 1/2 量かける。その上に残りの野菜を重ねて敷き、マリネ液をかける。
- ⑧ 粗熱が取れたら冷蔵庫で1～2時間冷やし皿に盛りつけ、完成。



ポイント

- ① 塩鮭を使うことで下味の塩を振る手間を軽減。
- ② 焼きあがった塩鮭は熱いところをマリネ液に浸すことで味が染み込みやすくなる。
- ③ 野菜の水分で鮭の身もしっとり。
- ④ マリネ液は酸味でさっぱり食べられますが、油を使用しているためエネルギーアップ。

毎日新聞
2021年
2月9日掲載

盛岡市がん検診

「21年度は実施を」

患者団体、医師会に要望書



がん検診の実施要望書を盛岡市医師会に提出後、記者会見した「岩手ホスピスの会」の川守田裕司代表（右）＝盛岡市若園町で

盛岡市が2020年度の一部がん検診の実施を断念したことを受け、がん患者や家族を支援する「岩手ホスピスの会」が8日、盛岡市医師会に、21年度は実施するよう求める要望書を提出した。同会の川守田裕司代表(64)は「医療体制が大変ということは分かるが、がん患者には重要な問題」と訴えた。

全国の自治体が実施するがん検診について、毎日新聞が20年秋に全国計74市区にアンケートしたところ、盛岡、秋田両市が20年度の検査を一部断念したことが判明した。盛岡市は胃がんの一部検査などを中止していた。

報道を受けて20年12月、盛岡市の三つのがん患者団体が実施要望書を市保健所に提出。市から「医師会の助言を受けている」と返答があったため、同会にも8日に提出した。及川敬一郎事務局長は「21年度の検診について話し合う(市医師会の)委員会が3月にある。要望書が提出されたことを周知する」と応じたという。

自身も約30年前に悪性リンパ腫と診断されたホスピスの会の吉島美樹子事務局長(59)は「がんは早期発見と治療が大事。検診の重要性を訴えたい」と話した。

川守田代表は「前回の盛岡市の検診でも約40人に胃がんが見つかったと聞いた。今年度実施できていないことで、その人たちが埋もれている」と訴えた。

【山田豊】

予想を上回る来場

盛岡白百合高「いのちの山河」上映会 合唱部の歌声も



上映会冒頭、歌声を響かせた盛岡白百合学園合唱部の部員たち

岩手ホスピスの会(川守田裕司代表)の「いのちの山河」の上映会が、盛岡市故・深澤農雄村長の実尾町の盛岡劇場で開か

れた。生命尊重を掲げて、全国に先駆けて高年齢者と乳児の医療費無料化に踏み切った旧沢内村(現西和賀町)の定員255人を上回る来場があった。

川守田代表はあいさつで、「お金より人の命を大切にすることを選んだ一人の政治家の記録。当たり前のようだが、人の命をこの次に考える方や計画がいまも各現場で行われていないか。人や命を大切にすることを生かすために、助け合って生きていく必要がある。決して過去の話ではなく、私たち自身の未来についての物語」と説いた。

上映後は、西和賀町立西和賀さむち病院の高橋光世事務長とNPO法人深澤農雄の会の加藤和夫理事長によるミニトークイベントもあった。

来賓の野原勝保健康福祉部長は「コロナ禍で、がん患者の医療についても検査や手術が延期するなど、影響が出ている。県内の緩和ケア病棟・病床の拡大は、ホスピスの会の活動が非常に大きな力になった。県内のがん患者支援へ引き続き活動をお願いしたい」と祝辞を述べた。

盛岡タイムス
2021年
3月1日掲載